

中部横断自動車道（長坂～八千穂）の 計画段階評価の進め方について

公共事業の実施過程の透明性を一層向上させるため、事業の必要性等が検証可能となるよう 評価の手法を改善するとともに、計画段階での事業評価を新たに導入

1. 政策目標評価型事業評価の導入

政策目標評価型事業評価として、以下の取り組みを実施する。

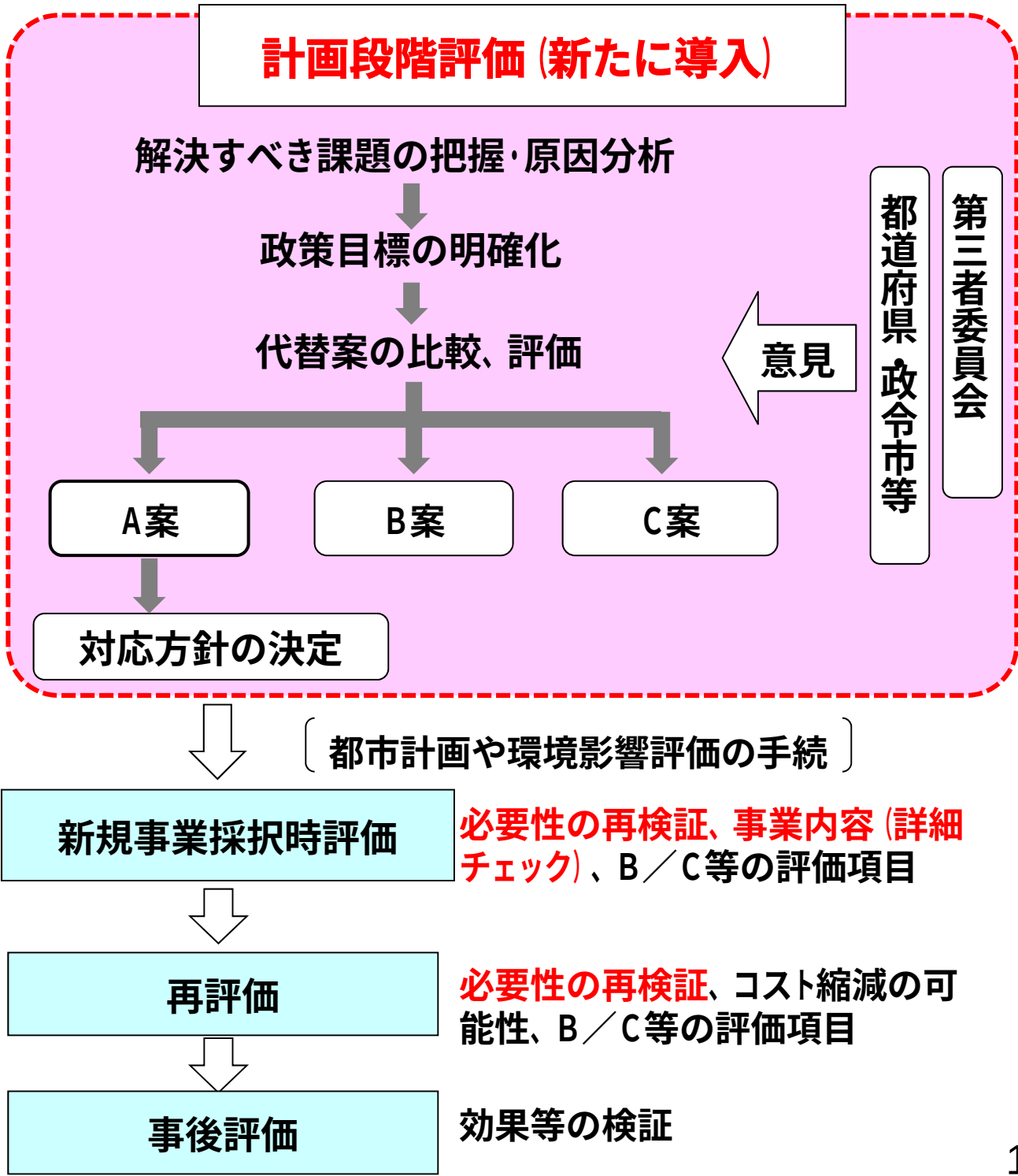
①事業の必要性や内容が検証可能となるよう
評価の手法を改善

- 事業目的となる解決すべき課題・背景の把握、原因分析
- 政策目標の明確化
- 政策目標に応じて評価項目を設定し、代替案を提示した上で、具体的データやコスト等から比較、評価

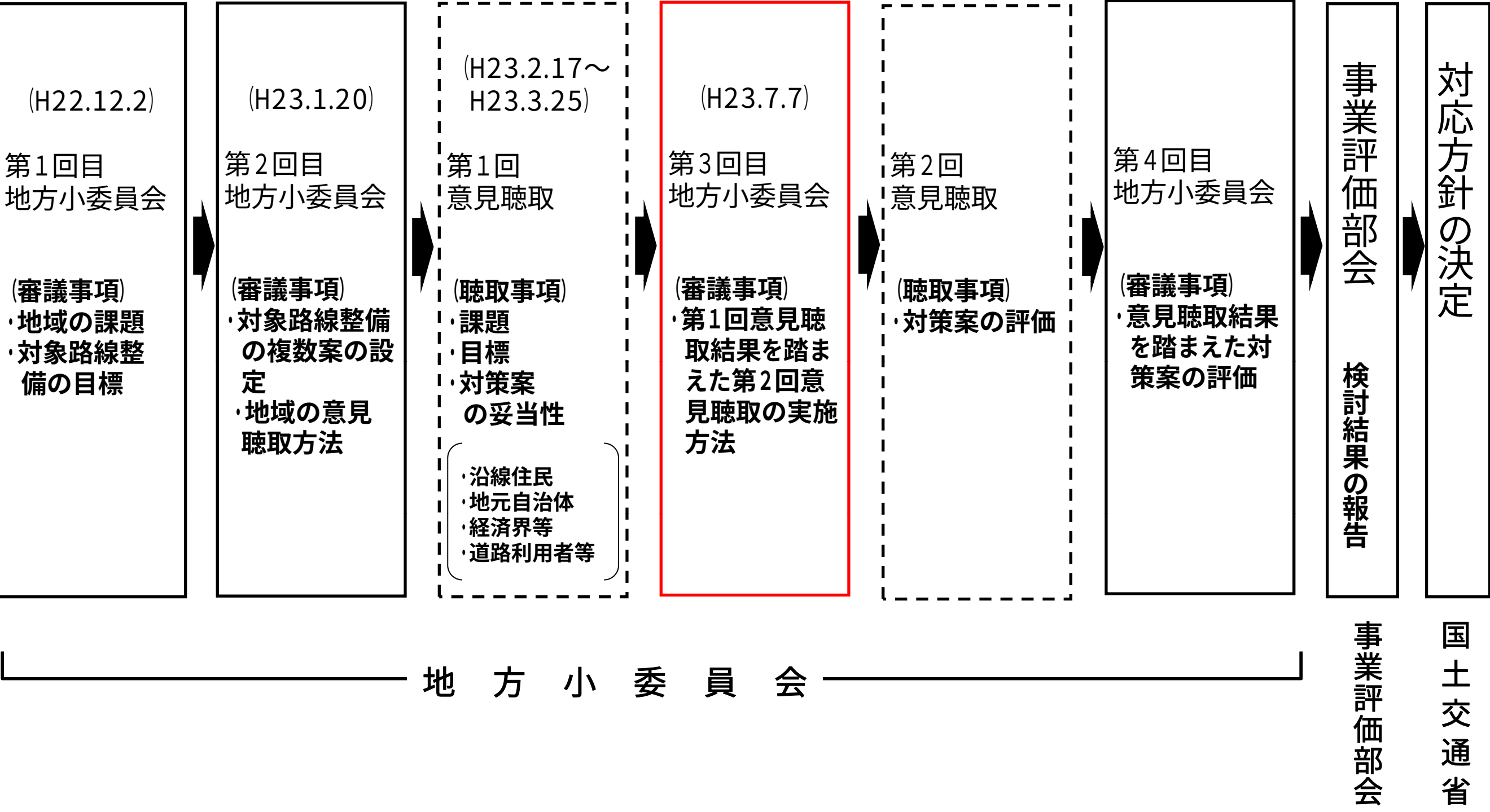
②計画段階の事業評価を導入

- 代替案の比較評価を行う計画段階における事業評価を実施

【政策目標評価型事業評価の一般的な流れ】



計画段階評価の進め方と今回の審議事項



意見聴取の基本方針

【1回目】

○課題・目標・対策案の**妥当性について意見を伺う。**

意見聴取（1回目）の聴取内容

①周辺地域の課題について

- ・提示した課題が妥当かどうか
- ・提示した課題の他に考えられる周辺地域の重要な課題

②課題を解決するための目標について

- ・提示した目標が妥当かどうか
- ・提示した目標の他に考えられる目標

③対策の比較案について

- ・提示した他に考えられる対策案

○意見聴取の対象者

対象範囲		対 象 者
沿線 地域	沿線住民	沿線市町村の住民 [人口約22万人、約8万5千世帯] 山梨県：北杜市、長野県：小諸市、佐久市、小海町、川上村、南牧村、南相木村、北相木村、佐久穂町
	地元自治体	沿線の自治体 [9市町村] 山梨県：北杜市、長野県：小諸市、佐久市、小海町、川上村、南牧村、南相木村、北相木村、佐久穂町
	経済界等	物流面：各県トラック協会 [約100件] 観光面：長野県・山梨県、観光協会、旅行会社、バス会社、観光・宿泊施設 経済面：農業関係、各種企業、商工会議所 生活面：病院、消防署
道路利用者等		高速道路利用者、観光客 等 [約2万部]

【2回目】

○**1回目で聴取した意見を踏まえ、必要があれば修正を行い、再度、課題・目標・対策案を示した上で、対策案の評価について意見を伺う。**

○意見聴取の対象者
第1回目と同じ。